

放課後等デイサービス事業所における自己評価

記入日 : R 5年 2月 13日

回答者数 : 4

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	目的に合わせて支援室がある。(食育、運動など)	
	2	職員の配置数は適切である	4	0	ガイドラインに沿って資格保有者が配置されている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	0	駐車場には、スロープが設置されている。また多目的トイレも完備されている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	毎日ミーティングを実施し、目標、振り返りをして支援の向上に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	今後の業務の参考にするため定期的にアンケートを配布し、保護者の要望を把握するようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0		利用者の意見を真摯に受け止め、今後の参考にする。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	毎月1回全職員参加の会議を実施。また、外部の講師を招いて専門分野での勉強会開催。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	0	児発管と現場の職員と支援計画について話し合いの場を設けている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		新規利用時のみ使用しているので今後は定期的に使用していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	職員会で立案を立てている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	偏った、プログラムにならないようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0	利用する時間量も考慮し課題等を決めて支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	個々の特性に合わせて、プリント課題を用意したり、発達に合わせてねらいを決めて、集団活動を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	毎日ミーティングを実施している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	その日の終わりに、必ず振り返りを行い共有し、次回に繋げている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	個別支援記録の他に、日案用紙にもその日の反省会で上がったことを記載している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	定期的にモニタリングを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	0		今後は、共通理解のもと引き続き支援していく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	0	現場の職員が主となり、担当者会議を進めている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	0	学校の年間行事や下校時間等は保護者を通してではあるが把握している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	4		現在まで医療的ケアが必要な子どもの受け入れはしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	0	出来るだけ連絡を取り合い情報共有に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	4		今現在、該当する利用者はいないが、今後、該当者がいたらそうしていく予定である。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	0	現在は児発管が代表として連絡会議に参加しその後、得た情報を必要に応じて現場の職員に伝えている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		コロナ感染予防のため、今のところ交流は控えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	1		今後機会があれば参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	原則、帰りは保護者がお迎えに来ていただいているので、その際に、その日のお子様の様子について毎回、詳しくお伝えしている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	4		今後は検討していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	契約時、定期的なモニタリング等で、詳しく説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	保護者に寄り添って、話を聞き対応することを心掛けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		コロナ感染予防のため、今のところ交流は控えていたが今後は、要望に応じて開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	クレームが上がった際は、職員間で共有し、改善に努めるように迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	月の活動予定はもちろん、毎月通信を発行し活動のねらいや先月のお子様の様子を掲載している。	
	35	個人情報に十分注意している	4	0	個人ファイルは鍵のある書庫に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	口頭だけでなく、書面やイラストを使い、視覚的にも伝わるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	近隣のスーパーなどに協力していただき、買い物に行くなどの活動を取り入れている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2		マニュアルは、全職員が目を通し把握している。保護者には感染症対応マニュアルのみなので、他のマニュアルについても具体的にお知らせしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		定期的に訓練を実施しているが今後は回数を増やしていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	職員対象に研修会を行ったり、毎月、チェックシートにて振り返っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	0	保護者を通して情報を把握し、対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	ヒヤリハットのテンプレートがあり、起きてしまった場合は当事者が記入し、翌朝のミーティングにて全職員が周知するようになっている。	